

(3) 共用システムの具体的な運用方法

① インセンティブ設計

理化学研究所

共同利用機器整備・更新調査を実施し、共用システムに登録している設備・機器を対象に、精査の上で理事長裁量経費による更新予算を措置

狙い・ポイント：研究所の研究資源利用の効率化等を目的に、センター横断的に利用されている研究装置の陳腐化・老朽化については、理研全体の研究活動の推進に関わるため、可能な範囲で本部からの予算措置により更新。

東京工業大学

全学共用化した研究設備の運用等を目的として使用する部局運用スペースについては、維持管理費一部負担金を控除

① 運用面積の算出 控除申請後に運用面積を認定。

運用面積（従来から変更なし）

- 一 共用研究設備の設置又は保管のための面積
- 二 共用研究設備の利用上必要な作業のための面積
- 三 法令又は安全管理上必要な通路等の面積
- 四 共用システム運用のための面積 ※

※ 遠隔操作や予約室システムの運用を想定、従前と変わらず。

② 評価面積の算出 共用実態に基づく評価結果を反映。 **変更あり**

$$\text{評価面積} = \text{運用面積} \times \text{共用実態評価係数 (0, 0.5, 1)}$$

狙い・ポイント：部局で取り組んでいる設備共用の実態に基づく評価を行い、共用化された設備・機器が設置してある部屋の維持管理費一部負担金を控除する取組を実施。

(3) 共用システムの具体的な運用方法

② 内部規程類の整備

鳥取大学

共通機器に関する細則を設け運用

研究基盤センター共用機器に関する細則

令和元年12月17日

鳥取大学研究推進機構研究基盤センター会議承認

(趣旨)

第1条 鳥取大学研究推進機構研究基盤センター施設利用の基本方針(平成31年1月22日鳥取大学研究推進機構研究基盤センター会議承認。以下「基本方針」という。)第13条第2項の規定に基づき、鳥取大学研究推進機構研究基盤センター(以下「センター」という。)において管理運用する機器、設備等(以下「共用機器」という。)の取扱いについて必要な事項を定める。

(共用機器の登録)

第2条 新たに機器、設備等を共用機器として登録しようとする場合(センター以外に既設の機器・設備等を新たに共用機器として登録する場合を含む。)は、登録しようとする者は、センター長に別紙様式の共用機器登録申請書を提出し、承認を得る。

狙い・ポイント：共用機器の登録方法や機器の利用方法及び管理責任者を明確化。それにより、業務の効率化を図るとともに、利用者の利便性の向上及び新たな共用機器の提供を容易に。

北海道大学

受託分析等に関する規程を策定・公開

○国立大学法人北海道大学創成研究機構グローバルファシリティセンター分析・加工受託規程

平成21年4月1日
海大達第25号

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人北海道大学創成研究機構グローバルファシリティセンター(以下この条、[第4条](#)及び[第9条](#)において「センター」という。)において、委託に基づき、センターが保有する設備又は[国立大学法人北海道大学オープンファシリティ使用規程\(平成17年海大達第231号\)第2条](#)に定める設備を使用して行う分析及び加工について、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第1条の2 この規程において、次に掲げる用語の意義は、それぞれ[当該各号](#)に定めるところによる。

(1) 分析 次に掲げる分析をいう。

イ 分子構造分析 生体成分を含む有機化合物等の構造解析に関する分析をいう。

ロ 材料分析 金属を含む有機化合物及び無機化合物等の化学的及び物理的分析並びに表面観察をいう。

(2) 加工 金属及び半導体を含む無機結晶及び無機化合物、高分子を含む有機薄膜等の微細構造作製に関する加工をいう。

(3) 部局 [国立大学法人北海道大学予算決算及び経理規程\(平成18年海大達第118号\)別表](#)に掲げる予算部局をいう。

(4) 装置管理部局 設備を現に管理している部局をいう。

狙い・ポイント：分析機器を使用した教育と研究を支援し、化学分析および分析技術の開発研究を通じて本学における教育・研究の進展に資することを使命とする受託分析事業を展開。主に、生体成分を含む有機化合物の構造解析に関わる分野で、大型分析機器を用いた受託分析を「[国立大学法人北海道大学グローバルファシリティセンター分析・加工受託規程](#)」に従って実施。

(3) 共用システムの具体的な運用方法

② 内部規程類の整備

東京工業大学

設備共用推進のための学内ガイドラインを策定

東京工業大学：

設備共用推進体申請のためのガイドライン(案)

本ガイドラインは部局等が進めている研究設備の共用化の取り組みを尊重し、運営上の独立性を重視したままオープンファシリティセンター「設備共用推進体」の一員として参画することにより、全学統合管理による効率化および設備共用の戦略的運用を目指す。

1. OFC 設備共用推進体としての申請条件

- ・運営委員会が設置されていること
- ・利用規約が作成されていること（ひな型あり）
- ・対象となる共用機器とその料金表が作成されていること
- ・運用実績（利用件数、収支決算）が整っていること
- ・統合設備共用システムへの対応

1) 設備共用推進体が管理する設備情報を統合システムの設備紹介に掲載すること（統合システムからは設備共用推進体の予約システムへのリンクを貼る）

2) 設備共用推進体が管理する設備の利用状況について、年に1回報告すること（例として今年度の集計を来年度4月に報告）

3) 設備共用推進体が管理する設備の導入・更新・廃棄があった際は研究基盤戦略室に連絡を随時行うこと

2. スペースの取り扱い

- ・研究機器の設置部屋は部局管理の部屋とする
- ・（R3年度から、個々の機器ではなく共用実体のある組織として認定の予定）

認定に基づき、一部維持管理費負担金の免除、減額の対象となる

3. 設備共用推進体への参入メリット・OFC 関連部門との技術連携・利用料の徴収手続きなどの事務サポート（OFCの処理方法と合致している場合）・概算要求などでの連携（設備マスタープランへの登録）・利用料積み立て制度＜予定＞・学外利用推進支援（URAとの連携）＜予定＞

4. 報告義務について

- ・運用実績（利用件数、収支決算）の報告 ⇒ 報告は毎年
- ・統合設備共用システムに対する対応 ⇒ 申請条件に準ずる

狙い・ポイント：設備共用推進のための学内ガイドラインを策定。オープンファシリティセンターが部局からの設備共用推進体申請を審査し、事務サポートや様々なインセンティブの付与を目指す。

(3) 共用システムの具体的な運用方法

② 内部規程類の整備

新潟大学

利用料金に関する細則内で機器毎に利用料を設定

国立大学法人新潟大学研究推進機構共用設備基盤センター機器分析部門
登録機器に係る利用料金細則

(趣旨)

第1条 この細則は、国立大学法人新潟大学授業料その他の費用に関する規程(平成16年規程第102号)第26条の3の規定に基づき、新潟大学研究推進機構共用設備基盤センター機器分析部門登録機器の利用及び依頼分析(以下「利用等」という。)に係る経費の額及び徴収方法に関し必要な事項を定めるものとする。

第3条 登録機器の利用等に係る経費の額(以下「機器利用料」という。)は、別表のとおりとする。

(徴収の方法)

第4条 機器利用料は、機器の利用期間が終了した後に徴収するものとする。ただし、これにより難い特別の理由がある場合は、1月分をまとめて徴収することができるものとする。

狙い・ポイント：共用設備にかかる主な経費は下記の4点。①導入費、②定常的な運転経費、③修理費、④廃棄費。

②、③は稼働中の必要経費であり、これらの確保が目的。利用実態に即し、学内外の利用に柔軟に対応するために学内・学外利用料金を設定し、徴収している。

(3) 共用システムの具体的な運用方法

③ 研究設備・機器の見える化

東海国立大学機構

共同利用機器・受託解析サービスのウェブページを設け、測定したいことから設備・機器を検索可能に



狙い・ポイント：外部利用者が本検索サイトを通して共同利用機器や受託解析サービスを使用することで岐阜大学とのつながりを深め、岐阜大学の教員との共同研究や共同開発につながることを目的。

(3) 共用システムの具体的な運用方法

③ 研究設備・機器の見える化

東京医科歯科大学

利用料金を含む設備の情報をウェブページで公開し、カテゴリ検索やフリーワード検索を可能に

TOPICS ABOUT US EQUIPMENT MEMBER CONTACT US TMDU 東京医科歯科大学

公開設備 (機器) のリスト・料金

<リサーチコアセンター (8号館南) 設置の共用機器の利用>
 8号館南設置の共用機器をご利用なされる場合、年度毎にセンターへの登録が必要です (登録方法は[こちら](#))

※ 登録料金 (学内のみ) : 15000円/分野・年 1000円/個人・年
 ※ 各装置の利用料金は下記リストからご確認ください。
 ・学外料金、企業による産業利用の使用料は管理者までお問い合わせください。
 ・学外料金については、消費税を別途加算します。

<難治疾患研究所設置の共用機器の利用>
 リサーチコアセンター申請手続き及び申請料は不要です。

カテゴリ検索 フリーワード検索

遺伝子解析

機器名	型番	メーカー	設置場所	連絡先担当者
リアルタイムPCRシステム StepOnePlus	StepOnePlus	ABI	8号館南5F 実験室2	船戸 紀子
QX200 Droplet Digital PCRシステム	Droplet Generator, PCR Plate Sealer, Droplet Reader	Bio-Rad	8号館南5F 実験室2	船戸 紀子

狙い・ポイント：利用料金を含む設備の情報をウェブページで公開。カテゴリ検索やフリーワード検索を可能にし、共有機器施設で保有する多くの機器の中から、ユーザーが利用を希望する機器に簡単に辿り着ける。ユーザーの利便性を向上させることで共用機器の利用増加を狙う。

(3) 共用システムの具体的な運用方法

③ 研究設備・機器の見える化

長岡技術科学大学

機器の遠隔操作の方法を動画を掲載



長岡技術科学大学
Nagaoka University of Technology

文字サイズ 大 中 小

サイト内検索

交通アクセス お問い合わせ English

大学案内 学部・大学院 センター 学生生活 教育 研究・技術開発 国際交流 入試 進路・就職

受験生の方 高専の方 地域の方 企業の方 在学生の方 卒業生/校友会の方

HOME > プロジェクト > 先端研究基盤共用促進事業 (SHARE) > 動画アーカイブ

動画アーカイブ

2020年4月 Zoom会議システムによる電子顕微鏡の遠隔操作
2020年1月各物の遠隔操作
2019年9月オンライン会議Share紹介

機器の遠隔操作やイベントの様子をまとめた動画を、オープンソースの学習管理システムILIASにて公開しています。以下のリンクからご覧ください。

[動画アーカイブ](#)

*上記のリンク先は本事業で管理している学外サーバです。「gigakunet.jp」は本事業で取得・管理しているドメインです。

お問い合わせ

分析計測センター
〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1
電話：0258-47-9833 FAX：0258-47-9830

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1
TEL：0258-46-6000 (代表)

個人情報取扱いについて 交通アクセス
当サイトについて お問い合わせ
サイトマップ
関連リンク

Copyright© Nagaoka University of Technology. All Rights Reserved.

先端研究基盤共用促進事業 (SHARE)

- 主事業について
- 研究機器の相互利用の状況
- 動画アーカイブ
- 機器検索システム
- 遠隔利用で用いるIoTツール
- 特徴ある機器の紹介
- 遠隔対応機器の一覧
- 事業関係報道
- 関連リンク
- 主事業で得られた成果公表について (附録記載例)
- イベント情報

狙い・ポイント：機器の遠隔操作の方法やイベントの様子をまとめた動画をWeb上で公開。遠隔地からいつでもどこでも効率的に遠隔操作の学習が可能。それらを通じて、機器遠隔操作の普及を推進。

(3) 共用システムの具体的な運用方法

④ 予約管理システムの構築

北海道大学

カレンダー機能、利用時間を集計する機能、講習会受講と連携した予約システムを整備

GFC総合システム（オープンファシリティ）

1 利用装置の選択

2 「予約する」をクリック

3 利用日時を指定する

4 「予約を確定する」をクリック

予約完了

初回講習会の受講が終了すると装置の予約ボタンが表示され、予約が可能になります。

【特徴】

- WEBで、いつでも予約ができます。
- 各装置の担当者が、「予約の可否」「予約可能時間」等の設定を行います。
- 原則として、予約の取消/変更はできません。
- 利用時間を集計する機能があります。
- 全体の掲示板や、装置ごとのお知らせ機能があります。

利用装置の選択

ゼータ電位 粒度分布測定装置

AP-100074
ベックマン・コールター
オープンファシリティ
専用測定装置
創成科学研究棟02-217
初回講習料：¥0(目) ¥0(他)
予約利用料：¥0(目) ¥0(他)

利用申請済み 再講習申込

予約する お問い合わせ

利用日時を指定する

確認へ>

予約を確定する

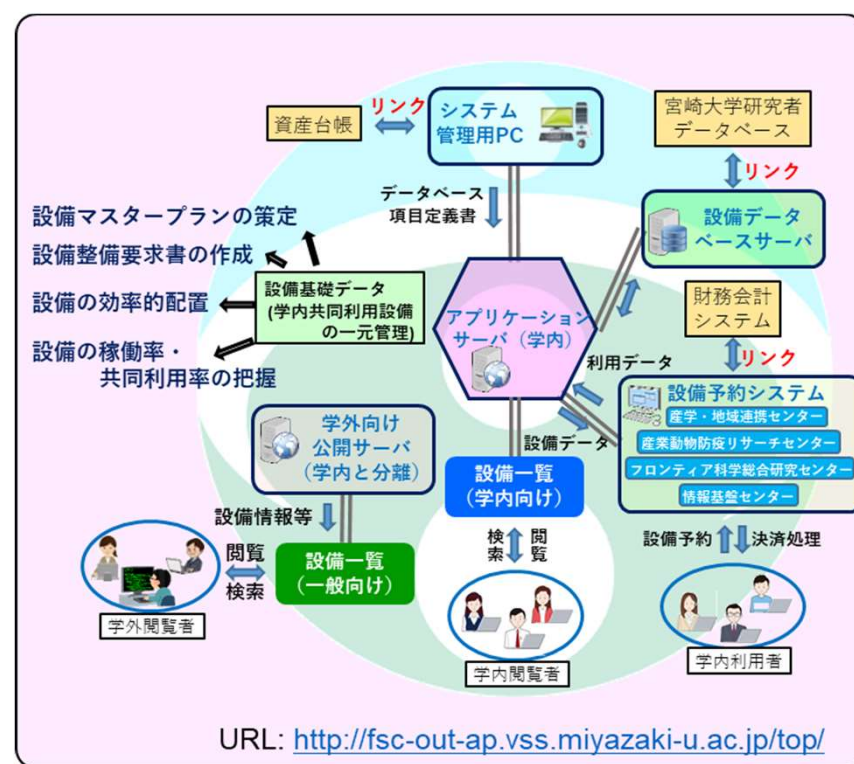
狙い・ポイント：分析・解析機器を共用する考えのもと、機器を便利かつ安心して利用できる予約管理システムを構築。IDを、大学のSSO_IDに統合し、各サービス（受託分析、設備市場等）を一元化することで、各種データをすべてGFC総合システムに蓄積。

(3) 共用システムの具体的な運用方法

④ 予約管理システムの構築

宮崎大学

財務会計システム、研究者データベースと連携した予約管理システムを構築



狙い・ポイント：設備管理システムは財務会計システム等とオンラインで連携。学内にあるデータの重複防止、管理者の労力削減、利用者の利便性向上を実現。また、みやざきファシリティネットワーク参画機関の共用設備の閲覧・検索が可能。

名古屋市立大学

利用料金の自動計算機能や、論文等の関連づけを可能にした予約管理システムを構築



狙い・ポイント：利用者の研究機器から得られた成果の見える化と機器管理者の負担軽減の実現のための新たな利用しやすいシステムを構築。さらに今後の機能拡張（受託システムの管理等）を念頭にしたシステム設計を実施。

(3) 共用システムの具体的な運用方法

④ 予約管理システムの構築

千葉大学

設備共用に関連するサービスを統合・連携

千葉大学研究設備活用システム(CURIAS)

○設備共用に関連するサービスを統合・連携。全国共通システム利用で管理コスト低減。

【設備検索】

千葉大学主要機器データベース (CUPID)

研究設備（主に理工学系分析機器を検索できる**オンラインデータベース**

【遠隔利用サポート】

セミリモート研究支援システム (SRSS)

学内外の遠隔地からの**リアルタイム情報共有、機器モニタリング**

【設備予約・課金管理】

大学連携研究設備ネットワーク (設備NW)

自然科学研究機構が主宰するオンライン予約・課金システム。学外からもシームレスに利用。

【データ・利用情報管理】

測定データボックス

専用サーバを介して測定データと利用情報の安全な管理。設備NWと情報同期設備NW
の情報を
CURIAS
に同期

狙い・ポイント：大学独自のシステムは現場に合わせた細かいカスタマイズや情報管理に有利、全国共通システムは学外との相互利用および管理コスト軽減に有利。これらを連携運用することで、双方の利点を活かす。

(3) 共用システムの具体的な運用方法

⑤ 不要となった研究設備・機器の利活用

北海道大学

学内で不要設備を売買するリユースのシステムを整備

▶ 設備市場で譲渡された機器の一例

□研究室のスタートアップ等にご活用いただいております。

No. 製品名

① ドラフト

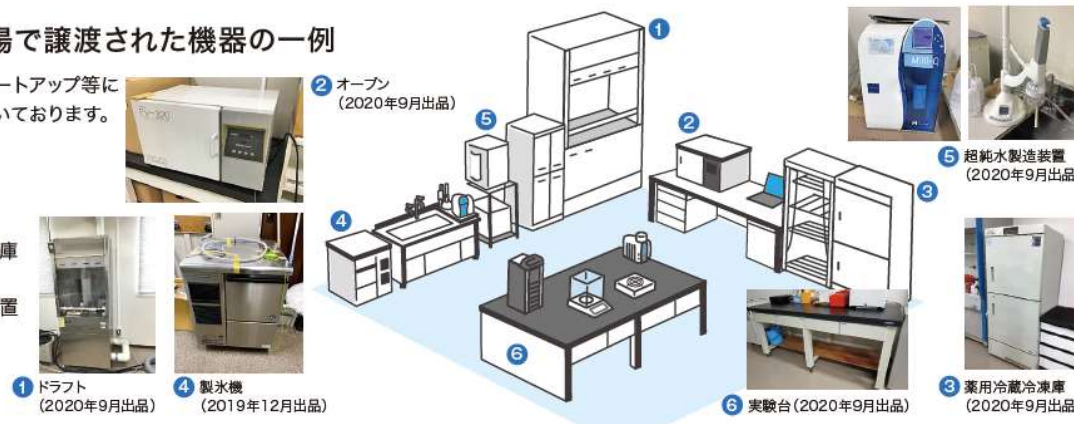
② オープン

③ 薬用冷蔵冷凍庫

④ 製氷機

⑤ 超純水製造装置

⑥ 実験台



狙い・ポイント：研究機器、設備等の有効活用を目的とし、不要となった機器等を、次のユーザーに繋ぐなどのマッチングを支援する仕組み。システムで、出品申請・承認、譲渡申請・承認を行い、無償譲渡および規定に沿った有償譲渡が可能。

大阪大学

不要となった設備をリサイクルするための掲示板を運用

研究用機器のリサイクル掲示板
GARAGE SALE

講座または部局で不用になった研究用機器を有効活用する為のリサイクル掲示板です。

リサイクル掲示板
◆◆ 機器一覧 ◆◆

機器登録申請

※ リサイクル掲示板に登録を希望される方は、メールに必要事項(機器名・メーカー名・型番・取得年・機器の状態・特記事項)を記入し、機器の画像を添付の上、科学機器リノベーション 工作支援センター (info@reno.osaka-u.ac.jp) まで送信ください。

受付番号	登録日	機器の名称	カテゴリー	詳細・問い合わせ
10	2021/12/10	ビベット自動洗浄器セット(+ガラスビベットと滅菌缶)	その他	詳細・問い合わせ
9	2021/12/03	超音波生物顕微鏡	医療・バイオ機器	詳細・問い合わせ

狙い・ポイント：各研究室や組織の遊休機器を有効活用する「リサイクル掲示板」による仲介サービスを実施。掲示板に登録することで、譲りたい人と譲ってほしい人とを繋ぎ、リサイクルによる新たな価値を創出する。